テーマ	***立体構造物を立体のまま見る***

適用分野	設計，組付検査，リハビリ， 3次元可視化，アミューズメント

研究名称	没入型バーチャルリアリティシステムの開発 およびその応用

氏名 所属	田村祐一　教授 知能情報学部　知能情報学科

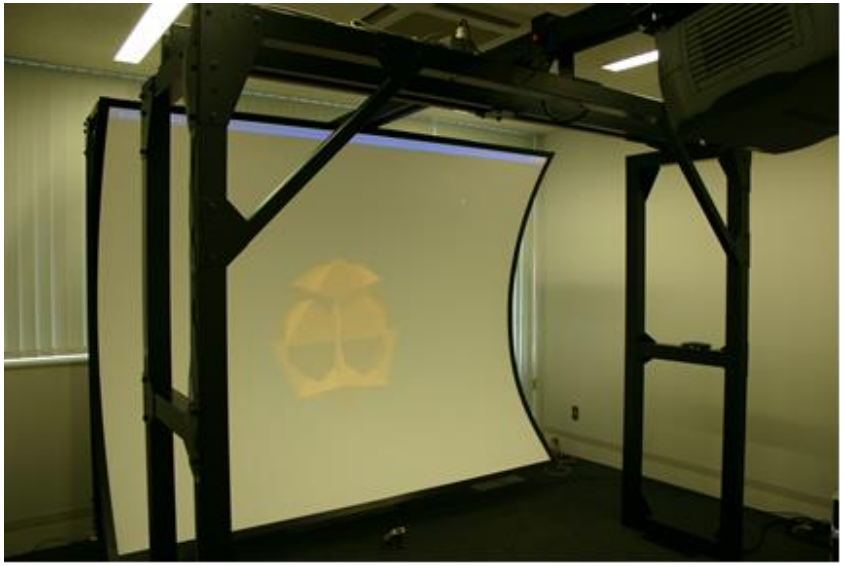
内容

●特徴

本研究の目的は，設置に広いスペースが必要である没入型ディスプレイを，小さな部屋であっても利用可能なシステムを構築することである．

●研究内容

没入型ディスプレイは，その高い没入感から自動車の設計をはじめとする様々な産業分野での利用が始まっている．また見ることができない現象等の3次元可視化などにも利用されている．しかし，このタイプの装置は一般的に非常に大きく，設置できる場所が限られるという問題があった．そこで，ディスプレイ自体を可動とし，小さなスペースであっても設置可能で，かつ様々な角度から3次元構造を観察可能なシステムの構築を進めている．本システムにより設置スペースの制限がなくなり，様々な場所での没入型ディスプレイの利用が可能となる．



キーワード	バーチャルリアリティ，立体ディスプレイ，没入，可視化

連携方法	■ 講演　■ 研修　■ 研究相談　■ 学術調査　■ コメンテート　■ 共同研究